

DVD教材活用 小学生出前授業
「わたしもボクも☆みんな活き活き」

北九州での実践

NPO法人GGPジェンダー・地球市民企画代表

岩丸 明江

北九州市のNPOであり、主に福岡県内で、人権や地域づくりのワークショップを実践しているNPO法人GGPジェンダー・地球市民企画、代表理事の岩丸です。昨年11月1日の実践者養成集中講座「すぐに使える教材を使ったジェンダー教育」に参加、まる一日の濃いプログラムを体験しながら、「小学校や保育所ですぐにやれそう」という手応えを感じていました。SEANの活動については、2008年に遠矢さんに北九州に来て頂いて以来、プログラムをまさに現場からほりおこし、検証を重ねていく姿勢にとても刺激を受けていました。私たちGPとしては、成人だけではなく、子ども対象にジェンダーのテーマでワークショップを実践したいもの、プログラムを一からつくっていくために、多忙な学校現場に入ること

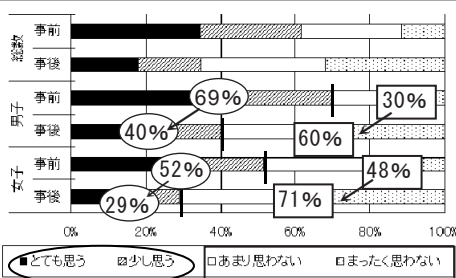
にためらいを感じていたときに、このプログラムに出合ったのです。もともと先生方とのネットワークがあるので、3月に試行的にやってみることになり、「臨場感と呼吸」をつかむために12月、高槻市立松原小学校での授業に参加させて頂きました。後ろからなので、子どもたちの表情はみえないものの、皆、問いかけに対して熱心に反応していて、クラスごとに、固定的でない、柔軟な流れをつくっていくライブ感が印象に残りました。ファシリテーターの原則ですが「いま、ここにあること」がしっかりと尊重されています。それにしても、アウトラインとしてプログラムがあることは大変心強いもの。私たちもがんばろう！と思いをあらたにしました。

3月1日の北九州市内の実践では、4年生の3クラスでやってみました。

わたしともうひとりの、実際に小学校4年の子どもを持つファシリテーターで担当、3クラスやってみて私たちが印象的だったのは、子どものDVD教材に対する集中力です。落ち着いたクラスもそうでないクラスもありましたが、DVDが流れている間は、かなり熱心にみています。そのあとに、ファシリテーターから問いかけがあり、自分にひきよせて考える時に、なかなか集中できないクラスも1つありました。そのクラスでは「自分が感じたこと」を表現すること自体に様々な理由でためらいが多いように感じました(同推担当の先生から色々お話をうかがいましたが)。また、全体の場で家庭のキツイ部分を思わず話す子どももいて、安全に配慮し、決して無理やり引き出した訳ではないのですが、いろんなことが起こりうるな、と思いました。しっかりと回数を重ねてより安心した場をつくっていきたいと思います。まだ事前事後のデータ解析ができていないのですが、またSEANのみなさんにご相談しつつ今年も取り組み予定です。よろしくお願ひします。

09年度 事前事後アンケート集計結果(高槻市立小学校5校11クラス分)

Q「女の子は女の子らしく」「男の子は男の子らしく」しているほうがいいと思いますか？



…考察…
男女共に意識の変化が伺えた。事前では「らしくあること」を当たり前としてとらえている意見や、「らしくないと恥ずかしい」「気持ち悪い」などマイナスイメージが目立った。事後は、「人それぞれ」「男女平等」「気持ちは同じ」「やりたいことをやればいい」といった、多様な生き方を尊重する考えが多くあがった。

…自由記述より…
「ほかの人に何か言われても自分らしくいこうと思いました」「命の大切さがわかった」

…授業のなかで出た意見…
「安心した」「心が温かくなった」「明日から、みんな変わらと思った」など、子どもたちの表情からもエンパワーされたことが感じ取れた。